

2022 年 4 月 5 日

報道関係各位

三菱地所株式会社

常盤橋タワーと TOKYO TORCH Park

国内の都心複合ビル開発プロジェクト初の「SITES®」ゴールド評価を取得

「江戸のみどり登録緑地」への新規登録も新たに完了

DBJ グリーンビルディング認証、SEGES、ABINC 認証を含め 5 つの環境認証を取得

三菱地所株式会社は、TOKYO TORCH 常盤橋タワーと TOKYO TORCH Parkにおいて、ランドスケープのサステナビリティを主に評価する環境認証「SITES® (The Sustainable SITES Initiative)」のゴールド評価を、国内の都心複合ビル開発プロジェクトとしては初めて取得しましたので、お知らせ致します。

また、在来種を積極的に植栽し、生物多様性の保全に取り組む緑地を東京都が登録・公表する制度「江戸のみどり登録緑地」にも新たに登録致しました。これにより、既に取得済の「DBJグリーンビルディング認証」、「SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム認証）」、「ABINC認証（いきもの共生事業所®認証）」を含め5つの環境認証を取得致しました。

5つの環境認証を取得し、世界でもトップレベルの環境への配慮が認められたTOKYO TORCHは今後2027年度の全体開業に向けて、更なる環境配慮を進めながら街づくりを進めてまいります。

【取得済の環境認証】

- ① SITES®（国内の都心複合ビル開発プロジェクト初のゴールド評価）※
- ② 江戸のみどり登録緑地
- ③ DBJ グリーンビルディング認証（5つ星評価）
- ④ SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム認証）
- ⑤ ABINC 認証（いきもの共生事業所®認証）

※ SITES®および関連ロゴは、Green Business Certification Inc.TMが所有する商標であり、許可を得て使用しています。



▲TOKYO TORCH Park



▲江戸のみどり登録緑地認定式の様子
（東京都環境局 自然環境部長より認定証を受領）



【SITES® ゴールド評価】

ランドスケープのサステナビリティを評価する米国の認証で、GBCI (Green Business Certification Inc.) が評価します。計画・設計に内容だけでなく、敷地の選定やアセスメント、施工時、施工後の運用維持管理までが対象となり、生物多様性保全や水資源保全、省エネルギー、資源循環、ヒートアイランド現象緩和、健康増進、教育など多面的な要素を評価します。

【江戸のみどり登録緑地】

在来種を積極的に植栽し、生物多様性の保全に取り組んでいる緑地を東京都が登録・好評する制度です。敷地内の樹木が植栽されている区域の面積、在来種の割合、種数が一定程度を超える緑地が登録できます。

【DBJ グリーンビルディング認証】

環境・社会への配慮がなされた不動産を支援するために、2011年4月に日本政策投資銀行（DBJ）が創設した認証制度。対象物件の環境性能に加えて、防災やコミュニティへの配慮等を含むさまざまなステークホルダーへの対応を含む総合的な評価に基づき、社会・経済に求められる不動産を評価・認証するものです。

【SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム認証）】

公益財団法人都市緑化機構が建築や開発など都市開発事業における緑の保全・創出の計画について、緑の機能や効能による社会や環境への貢献度を一定の基準に沿って評価・認定するシステム。本プロジェクトでは計画・施工段階にある新しく創られる緑地を対象とした「都市開発版（つくる緑）」の認定を受けています。

【ABINC 認証（いきもの共生事業所®認証）】

「一般社団法人企業と生物多様性イニシアチブ（JBIB）」が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどの取り組みを第三者的に評価・認証する「いきもの共生事業推進協議会」が行う認証制度です。

■評価された取り組みの一例

(1) ランドスケープデザインにおける様々な環境配慮の取り組み

ランドスケープデザインにおいて、植生・材料選定・雨水及び中水の利活用を意識し、環境に配慮した計画としました。開発前の既存樹（ケヤキ）の保全、緑地面積の約9割を在来種で構成する植栽計画としています。また、建物の雨水貯留槽や外構部の浸透枳による雨水の貯留・活用、ドリッブ式灌水により、外構部の維持管理において上水を使用しない計画としています。

(2) 人の健康とウェルビーイングに向けた取り組み

アクセス性が良く、開発前より人通りが多いまちのポテンシャルを踏まえ、年齢、性別、人種などを問わずに参加可能なイベントやプログラムを開催できるイベントスペースを確保し、開業後より四季に合わせたイベントを開催しています。また、広場空間は24時間常時一般開放し、座ることができるスペースを十分に確保することや、屋外を完全禁煙とすることで人の健康とウェルビーイングに配慮した計画としました。

(3) 継続的なモニタリング等の運用と維持管理計画

設計前の段階より施設管理者を含め、多様な職能がランドスケープデザイン検討に参画し、計画を進めました。維持管理計画の中では、農薬、化学肥料の散布を最低限にすることや、維持管理に使用する機器の多くを軽油駆動の機器ではなく、電動機器を用いることとしました。また、屋外空間でのツアーや様々な媒体での公表を通じて、本街区での取り組みを広く共有しています。開業後より3年間、灌水量、侵略種、屋外の利用状況に関する継続的なモニタリングを実施し、モニタリングの結果をもとにその後の街区の維持管理計画の見直しを実施する予定です。

(4) 災害時の防災拠点としての位置づけ

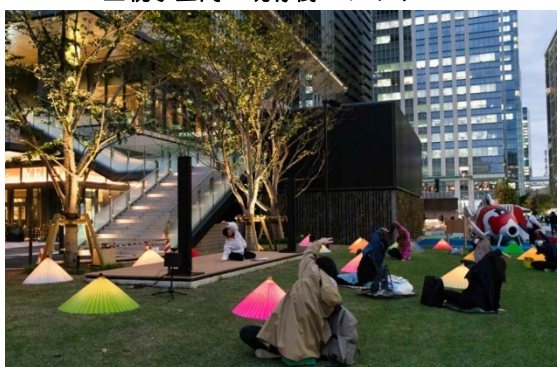
本計画では、災害時に防災活動拠点として広場に設置しているマンホールトイレ設置のほか、物資や情報を提供する等、帰宅困難者の受け入れを行う予定です。



▲親水空間の既存樹のケヤキ



▲高低差がある芝生の縁を活用したベンチ



▲メディテーションイベントの様子
(2021年10月21日開催)

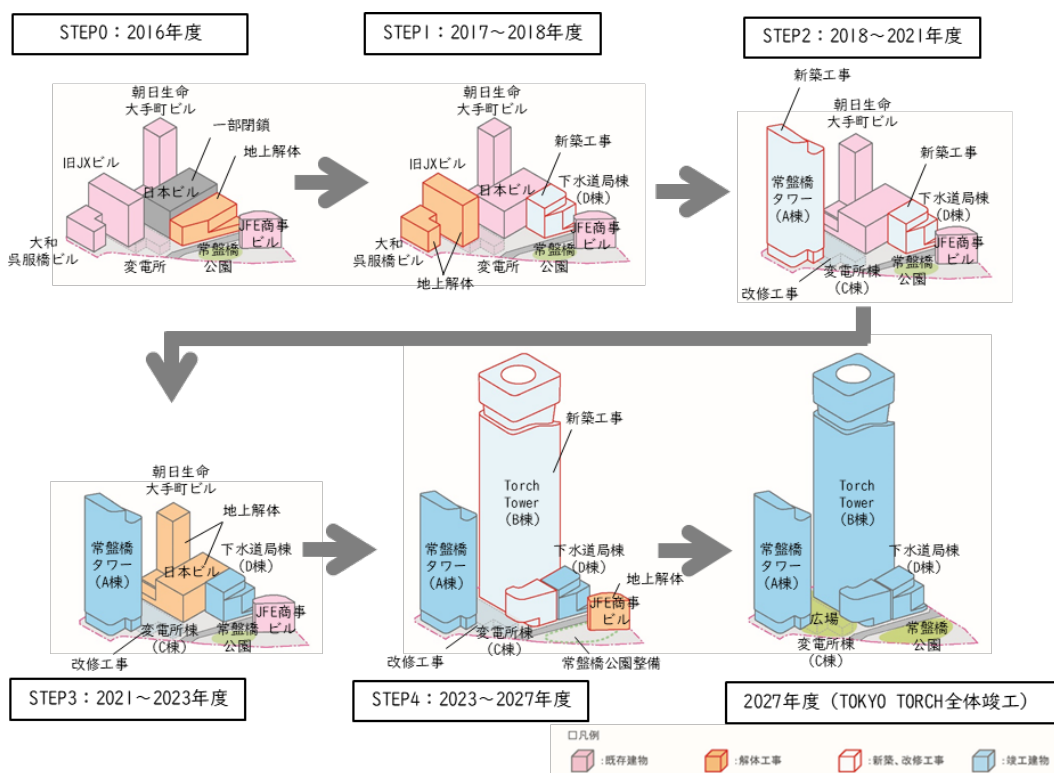


▲「大手町・丸の内・有楽町 仲通り綱引き大会 2021」
決勝リーグの様子 (2021年10月15日開催)

<事業概要>

街区名称	TOKYO TORCH				
事業名称	大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業（施行者：三菱地所株）				
計画地	東京都千代田区大手町2丁目、中央区八重洲1丁目				
敷地面積	約 31,400 m ²				
総延べ面積	約 740,000 m ²				
棟別諸元	常盤橋タワー (A棟)	Torch Tower (B棟)	変電所棟 (C棟)	下水道局棟 (D棟)	
主要用途	事務所、店舗、 駐車場等	事務所、ホテル、 ホール、賃貸住宅、 店舗、駐車場等	店舗、変電所、 駐車場等	事務所、下水ポンプ所、 駐車場等	
延べ面積	約 146,000 m ²	約 544,000 m ²	約 20,000 m ²	約 30,000 m ²	
階数／ 最高高さ	地上 38 階・地下 5 階 ／約 212m	地上 63 階・地下 4 階 ／約 390m	地下 4 階		地上 9 階・地下 3 階 ／約 53m
着工 (予定)	2018 年 1 月	2023 年度	I 期 2018 年 1 月	II 期 2023 年度	2017 年 4 月
竣工	2021 年 6 月末	2027 年度(予定)	2021 年 6 月末	2027 年度 (予定)	2022 年 3 月末
設計監理	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計	(株)三菱地所設計 日本水工設計(株)
施 工	戸田建設(株)	未定	戸田建設(株)	未定	三井住友建設(株)
関係権利者	三菱地所株、東京都下水道局、(株)大和証券グループ本社、(株)三越伊勢丹、 東京電力パワーグリッド(株)、有限会社大手町開発、独立行政法人都市再生機構 常盤橋インベストメント特定目的会社、TOKYO0390 特定目的会社他				

<TOKYO TORCH 開発ステップ図>



[illegible]

TOKYOTORCHPARK

 丸の内
Reデザイン